

平成21、22、23年度の健診とレセプト データからの報告(第1報)

栗田直人1)、齋藤郁恵1)、畑淳子1)、
各務竹康2)、早川岳人2)、福島哲仁2)

1)全国健康保険協会福島支部

2)福島県立医科大学衛生学・予防医学講座

【目 的】

全国健康保険協会（以下「協会けんぽ」）の特定健診受診者におけるリスク保有および治療状況を性、年齢階級別に明らかにし今後の福島支部の事業施策に活用する。

【方 法】

協会けんぽ加入勤務者における、平成21年度から平成23年度の特定健診受診者の健診検査項目、問診項目、診療状況についてカイ2乗検定を実施した。

1 対象者

1年間継続して加入していた35歳から74歳の男女
平成21年度：111,800人、平成22年度：118,327人、
平成23年度：116,277人

2 年齢階級別人数

(人)

	35歳～44歳	45歳～54歳	55歳～64歳	65歳～74歳
H21年度	35,317	41,112	31,430	3,941
H22年度	38,632	42,239	33,648	3,808
H23年度	39,148	40,257	32,976	3,896

3 検証項目

男女各年齢階級別に、以下の4項目について分析した。

- ① 血圧・脂質・代謝・腹囲リスク保有者割合
- ② 高血圧・糖尿病・脂質異常症治療者割合
- ③ eGFR60未満者割合
- ④ 喫煙の実態

4 リスク保有者の判定

リスク保有の判定基準は以下のとおりとした。

また血圧、脂質、代謝には、それぞれ薬剤治療ありの者を含めた。

- ① 血圧：収縮期血圧130mmHg以上、
または拡張期血圧85mmHg以上
- ② 脂質：中性脂肪150mg/dl以上、
またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ③ 代謝：空腹時血糖110mg/dl以上
空腹時血糖の検査値がない場合、HbA1c 5.5%以上
- ④ 腹囲：内臓脂肪面積が100cm²以上
内臓脂肪面積の検査値がない場合、
腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上
腹囲の測定がない場合、BMI25以上の者

5 治療者状況

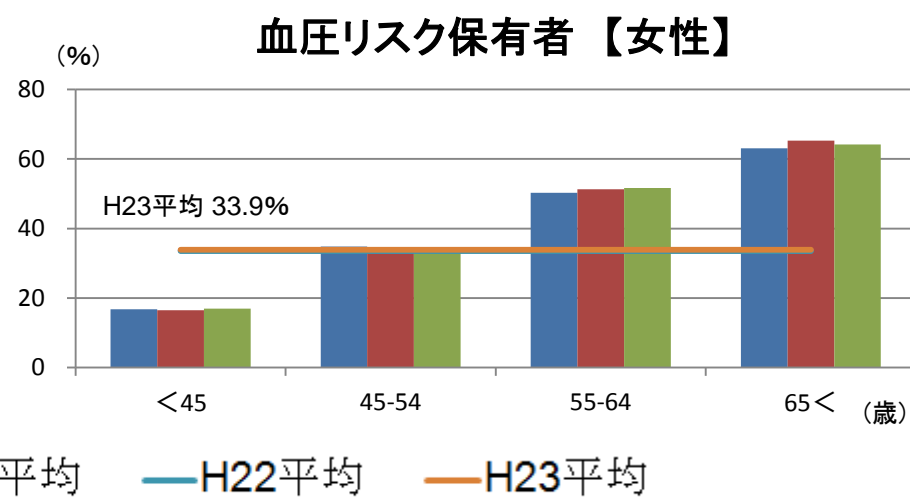
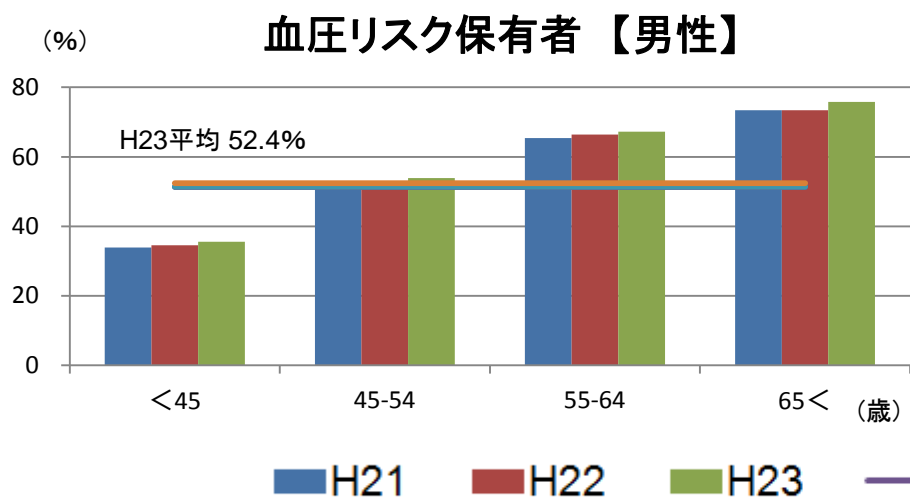
健診受診年度および翌年度9月までのレセプトから抽出した。

【結果1】

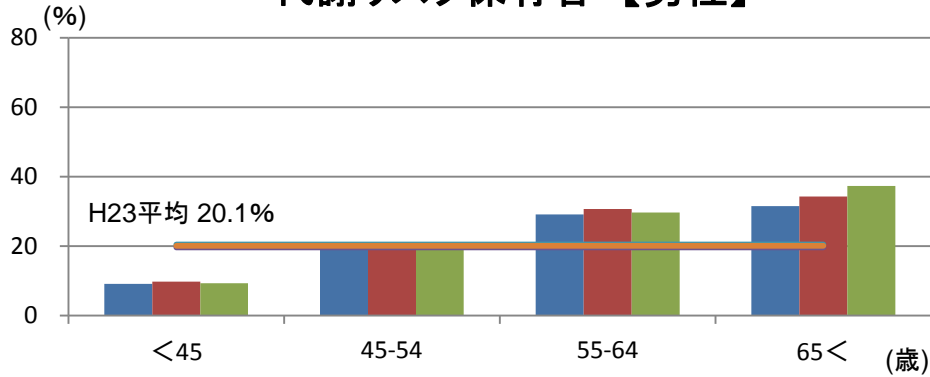
リスク保有者の割合

すべてのリスク項目で、男性の有所見割合が女性の割合を上回った。血圧リスク、代謝リスク保有者割合は、男女とも年齢とともに上昇した。男性は血圧、代謝、腹囲で、女性は血圧で45歳～54歳群で全体平均を上回った。

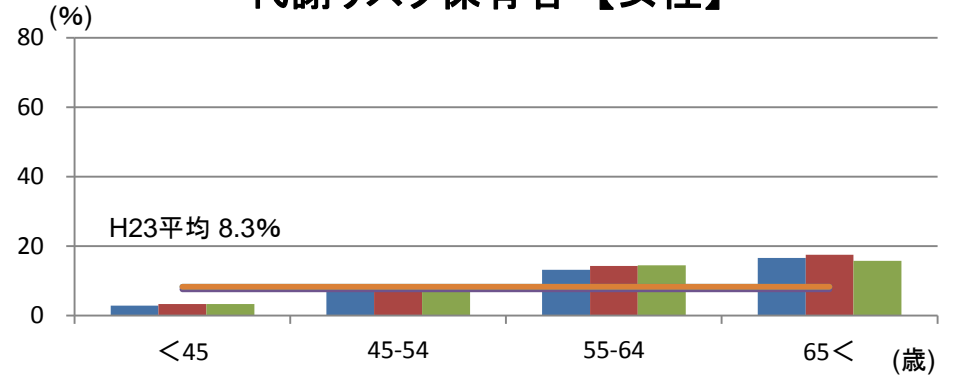
脂質リスクでは、年代別の特徴が見られなかった。



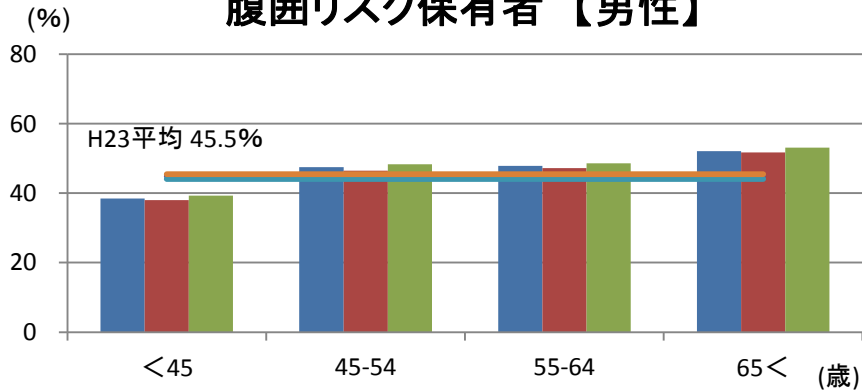
代謝リスク保有者【男性】



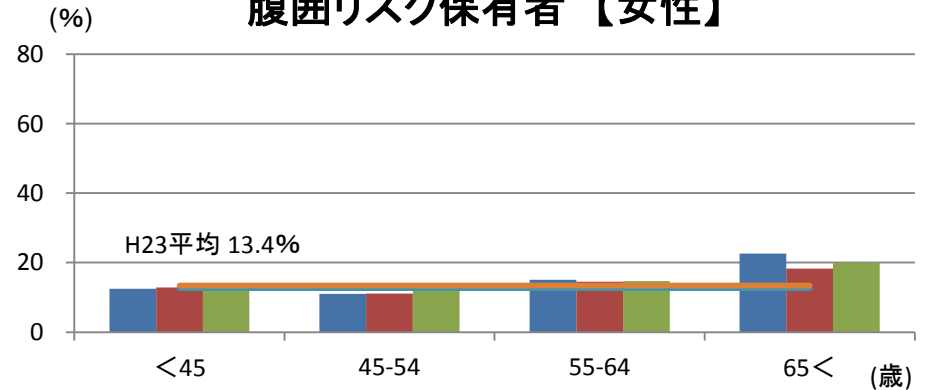
代謝リスク保有者【女性】



腹囲リスク保有者【男性】



腹囲リスク保有者【女性】

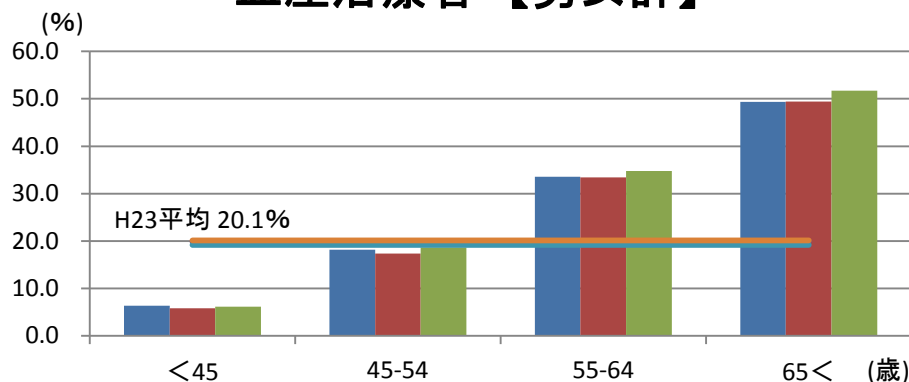


■ H21 ■ H22 ■ H23 — H21平均 — H22平均 — H23平均

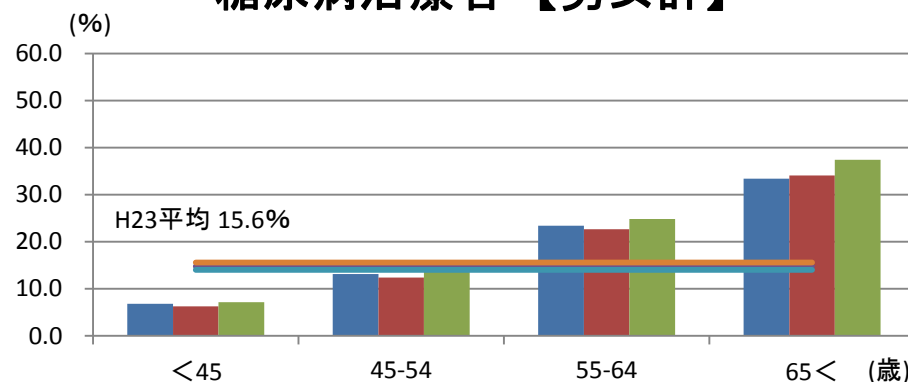
治療者等の割合

すべての項目の治療者割合、eGFR60未満者の割合が、年齢とともに上昇し、55歳～64歳群で全体平均を上回った。

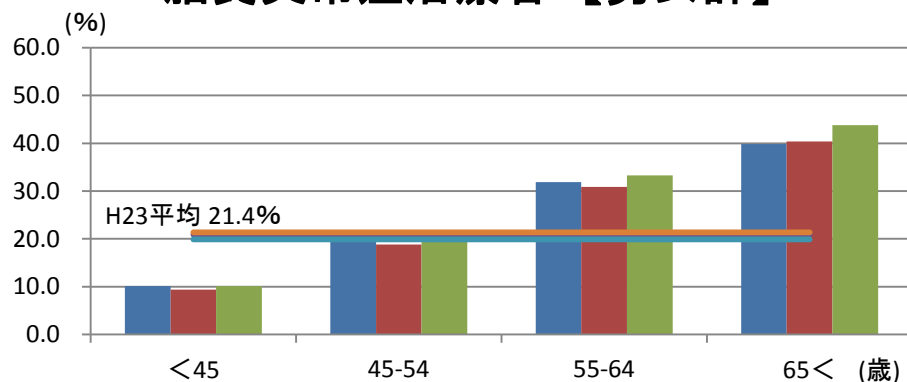
血圧治療者【男女計】



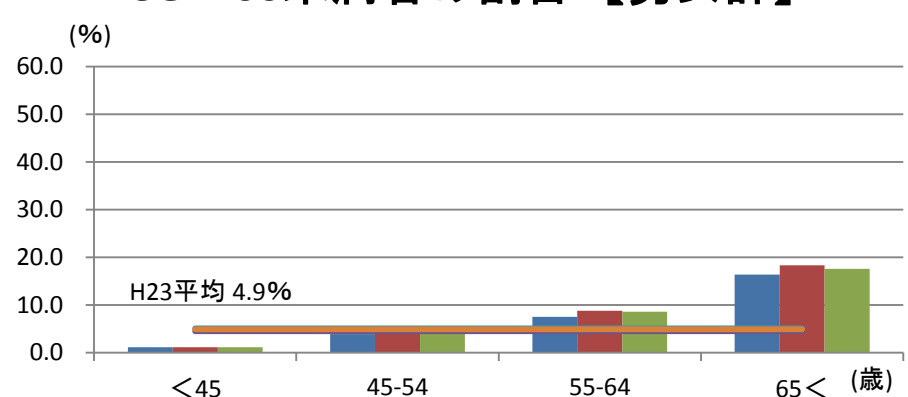
糖尿病治療者【男女計】



脂質異常症治療者【男女計】



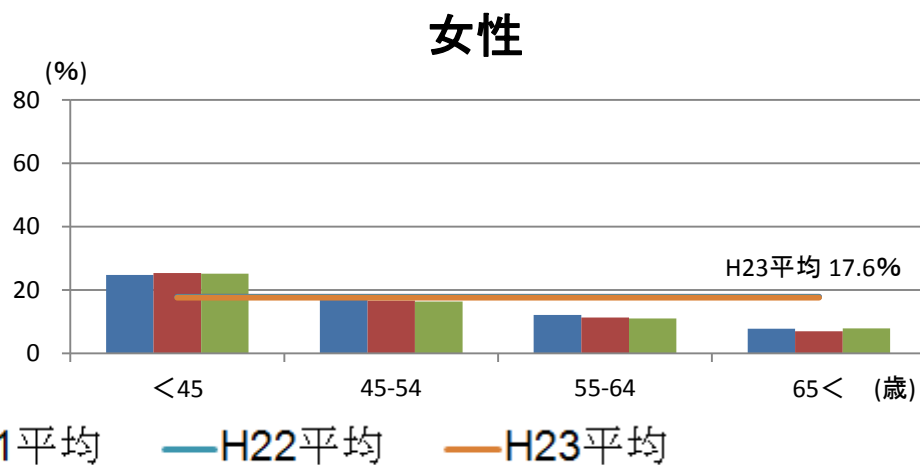
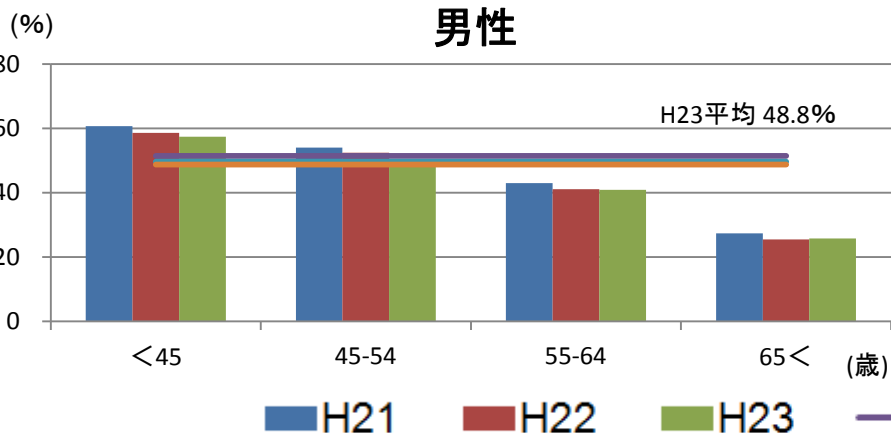
eGFR60未満者の割合【男女計】



■ H21 ■ H22 ■ H23 — H21平均 — H22平均 — H23平均

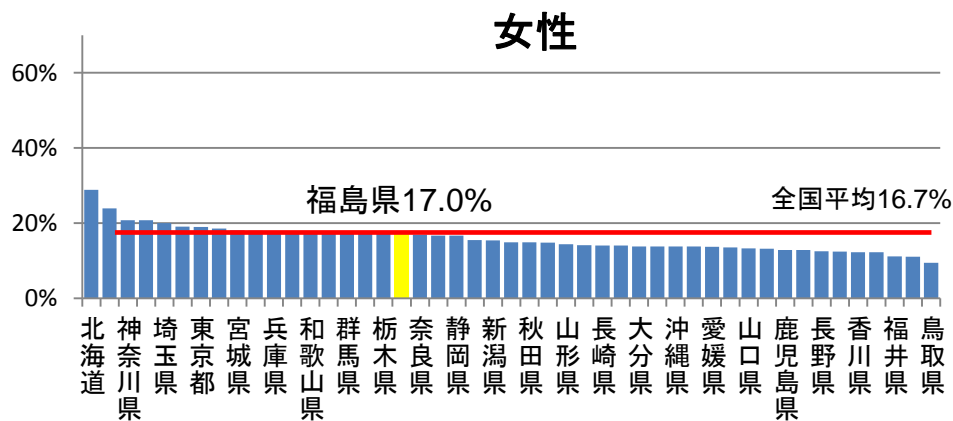
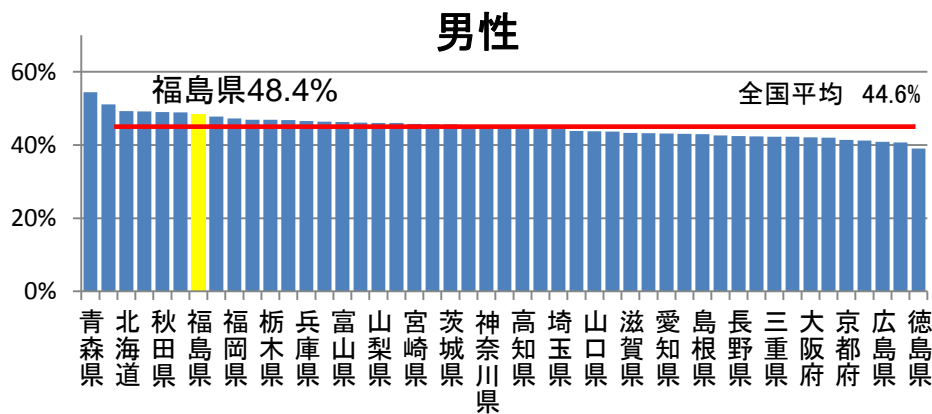
喫煙の実態

男女とも年齢上昇とともに減少した。



平成23年度協会けんぽ健診受診者の喫煙者割合

福島支部の喫煙者の割合は、男女とも全国平均を超えている。



【結果2】

- ① 性、年齢階級別に各リスク、治療状況で違いが有意に認められた($p < 0.01$)。
- ② リスク項目、治療項目ごとに平均を上回る年代、上昇率が著しい年代の傾向が明らかとなった。
- ③ リスク保有者割合では、男性は血圧、代謝、腹囲で、女性は血圧で45歳～54歳群で全体平均を上回った。
- ④ 高血圧、糖尿病、脂質異常症の治療者割合、eGFR60未満者の割合では、男女とも55歳～64歳群で全体平均を上回った。
- ⑤ eGFR60未満者では、男女とも55歳以降に著しい増加が認められた。

【考 察】

- ① 当支部では、年齢によるリスク保有率および治療者割合上昇起点に着目し、各年代の特性に応じた加入者サービスを提供していく。

年代	目 標	ねらい	具体的な取組み
30歳代	40歳で糖尿病・高血圧・脂質異常症の芽をつくらない	健診受診促進	健診受診勧奨の広報、小学校での健康教室
40歳代	50歳で糖尿病・高血圧・脂質異常症の治療対象者の減少	保健指導利用促進	事業所訪問、保健指導アウトソーシングの推進
50歳代	60歳の腎不全者を減らす	治療の勧奨	未治療者への重症化予防事業

- ② 福島支部加入者の喫煙率が全国平均を越えていることから、喫煙対策にも早急な取り組みが必要であることが示唆された。